

令和 6 年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立荒川工科学校 学校運営連絡協議会(全日制課程)
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、教務部員 1 名 計 2 名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主幹教諭(教務担当)、教務広報主幹教諭、生活指導主任教諭、
進路指導主任教諭 計 7 名
- (4) 協議委員の構成
荒川区経済部長、日本電子専門学校 校長、日本工学院専門学校 広報部課長、警視庁南千住警察署
生活安全課長、荒川区立南千住第二中学校長、東京消防庁荒川消防署南千住出張所長
荒川区社会福祉協議会 荒川ボランティアセンター長、同窓会長、PTA会長 計 9 名

2 令和 6 年度学校運営連絡協議会の概要

第 1 回 令和 6 年 6 月 18 日 (火) 内部委員 7 名、協議委員 5 名

協議委員委嘱、委員紹介

昨年度の学校経営の課題と今年度の計画について

各分掌から昨年度の課題と今年度の目標について説明

学校改善に向けた取組についての意見交換

第 2 回 令和 6 年 11 月 8 日 (金) 内部委員 7 名、協議委員 5 名

各分掌の現状と課題について説明

学校評価アンケートの質問内容の検討

学校改善に向けた取組についての意見交換

第 3 回 令和 7 年 2 月 7 日 (金) 内部委員 7 名、協議委員 7 名

各分掌の今年度の取組と成果について説明

学校評価アンケート結果とその分析について

学校改善に向けた取組についての意見交換

3 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点

昨年度との比較することによる学校評価の変化を知る。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・ 12 月 全校生徒	対象：256 人	回収：241 人	回収率：94%
・ 12 月 保護者全員	対象：256 人	回収：104 人	回収率：41%
・ 12 月 地域・住民	対象：9 人	回収：5 人	回収率：56%
・ 12 月 教職員	対象：44 人	回収：44 人	回収率：100%

(3) 主な評価項目

あいさつ指導、分かりやすく充実した授業、ものづくりの生徒の興味・関心、資格取得指導、進路指導、
生徒相談、生活指導、部活動、学校の施設、体育祭、文化祭、校内美化、いじめ対策、Tokyo P-TECH、働き
方改革、学校満足度

(4) 評価結果の分析・考察

教職員：・肯定的な回答が、あいさつ、分かり易い授業、進路重点主義、Tokyo P-TECH、働き方改革
の 5 項目について顕著に増加している

・それ以外は過去 3 年間では大きな変化は無かった。

生徒：・全体的に肯定的な回答が多いが、強いて言えば、悩み、部活動、施設・設備については、否
定的な意見が多目である。

・過去 3 年間大きな変動はなかった。

保護者：・昨年より回答率は大きく増加。

・全体的に肯定的な回答が多いが、強いて言えば、あいさつ、ものづくり、資格取得、部活動、
施設・設備は肯定的な回答は多くない。

・過去 3 年間大きな変動はないが、コロナ禍が明けたためか、体育祭の肯定的な回答が増加
している。

地域：・回答数が多くないため、また昨年度から「分からない」という項目を増やしたため、変動が
大きい。

・資格取得、ホームページ、地域の要望の項目は、肯定的な回答が 100%である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学校評価アンケートの保護者対象の回収率が低いとの指摘があったので、コミュニケーションシステムが導入されて、学校評価アンケートの保護者対象の回収率が上昇した。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・子供が少ない、新入生が減少していることは、教育全体の問題である。
- ・どのように学校をアピール方法について、TikTokなどのデジタル活用。
- ・転退学者が2ケタで多い傾向にある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 教務部

- ・生徒の在籍について、52名在籍異動のうち退学ではなく転学が多い。
- ・観点別評価について、本年度完成年度となった。保護者からのクレームなし。
- ・コミュニケーションシステムが導入された。インターネットで欠席連絡が可能になった。

(2) 生活指導部

- ・体育祭について、定員割れで、各クラスの人数がバラバラで調整が大変であった。最小の人数クラスに合わせてチームを作った。
- ・学校全体として、落ち着いている。昨年度と比較すると1年生は、人数が少ないのが影響している可能性がある。
- ・生徒も多様化しているので、個別で指導して対応をしている。

(3) 進路指導部

- ・就職希望者は、100%内定をいただいている。
- ・進路行事については、Tokyo P・TECH 事業を活用して、企業と連携したガイダンスの実施。
- ・社会に求められる力を付けて卒業してもらうように指導している。

(4) 教務部広報

- ・ホームページを見て参加した中学生が多い。体験入学では、興味を持ってもらえた。
- ・学校見学会を1回、学校説明会2回、個別相談会1回実施した。
- ・7月のドリームフェスタで本校をアピールでき、昨年度よりは応募倍率が向上した。

6 「学校の雰囲気が良い」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	分からない	無回答
2	6	1	0	0	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績

【実績】 無し（職員会議 0回、企画調整会議の参加 0回）

8 その他

- ・地域のアンケート回答数が少ないので、今後、近隣の方々にもご協力いただくよう検討する。